



五中だより

貝塚市立第五中学校

校訓《勤勉・自律・敬愛》

令和4年3月 第12号

校長室から

11日に、3年生36名が、卒業していきました。今年は1,2年生も一緒に式に参加して、お祝いすることができました。

3年生の答辞には、コロナ禍で1年生の終わりからの2年間を過ごした3年生の思いが込められていました。感染対策のために、今までは当たり前でできていたことができなくなったこともいっぱいあった2年間でした。そのたびにどう感じて、どう乗り越えてきたのか、悩みながらやってきたことや、五中を盛り上げていく最高学年として前向きになろうとしてきた気持ちが、1,2年生にもしっかり伝わったと思います。

1,2年生はもう少し3学期が続きます。それぞれの学年の最後の仕上げを頑張っていきましょう。先輩の思いを引き継ぎ、これからの五中をつくっていくのは、皆さんです。

さて、今年は冬が厳しかったのですが、ここ数日で急に温くなりました。中庭のクリスマスローズも今満開になっています。この花は、地域の方の協力もあり、2011年に植えたものだそうです。「大阪を花いっぱいにする活動」という立て札が残っています。いつもは2月のまだ寒い時期に咲くのですが、実は、枝切りの手入れも遅くなったので、寒くなりすぎて今年はもう咲かないのかと心配していました。もう3月ですが、最近になってしっかり花を咲かせてくれました。2月は雪がちらつくほど寒かったのですが、我慢して咲くのを待っていただけだったのかもしれない。ほかには、木蓮や水仙も花をつけてきました。ビオラも元気になってきました。春の花には、寒い間に、まだかまだかとじっと蓄えていたパワーを感じます。



春は、日本の学校では、ちょうど年度が変わって次のステージに進むときです。この一年の自分の成長を振り返り、来年度新たなチャレンジは何をするのか、今のうちに考えてみてください。

保護者の皆様、今年度は休校等がなく、年間通しての学校生活を進めることはできました。それでも、まだまだ感染対策をしながらの生活は続いているので、行事や授業の様子などを直接見ていただく機会は、十分には取れませんでした。子どもへの感染が多くなった中で、心配な面もいっぱいあったと思います。そんな中でも、行事の実施や、いろいろとあった急な変更や連絡にもご理解・ご協力をいただきましたことに、感謝申し上げます。この1年間の学校へのご支援、本当にありがとうございました。

～生徒指導より～

今年度もいよいよ終わりを迎えます。3学期はやはり一瞬でした。そして、3年生が卒業しました。新しいドアを叩く時ですね。卒業おめでとう。そして、ありがとうございました。

今月は、先生が最も好きな言葉を贈ります。

「人は、挑戦を諦めた時、年老いていくのだと思います。

この道を行けばどうなるものか 危ぶむなかれ

危ぶめば 道はなし

踏み出せば その一足が道となり その一足が道となる

迷わず行けよ 行けばわかるさ 」

プロレスラーアントニオ猪木さんの引退試合での言葉です。清沢哲夫さんの詩「道」から引用されています。

終わってみないと今がどうかなんてわからないのだから、今この瞬間をいかに大切にするか、挑戦していくか。新年度もそれぞれの場所で、大きく羽ばたけ！！

～生徒会より～

3月10日(木)に3年生を送る会を行いました。昨年に引き続きコロナの影響で、ブラスバンド部の演奏や1・2年生から卒業生へ送る歌は、事前に撮影を行い、体育館のスクリーンに映して映像として見る事になりました。また、在校生を代表し1・2年生のHR議員2名が3年生へ写真立てをプレゼントしました。



今年は在校生全員が卒業式に参加し、3年生の卒業していく姿が見られて、本当に良かったと思います。3年生から受け継いだことを、次は1・2年生が引き継ぎ、みんなで協力し合い、五中を良くしていきましょう！

現在、執行部では新年度の取り組みと入学式の準備に取り掛かっています。新1年生を迎えるにあたり「先輩としてカッコいい姿」を残りの少ない日数で作り上げよう！